MSD15−60006/7
オーバーフェンダー

取付・取扱要領書

この度はオーバーフェンダー(MODELLISTA)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備 考
MSD15-60006-A3	ﾌﾟﾗﾁﾅﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙﾏｲｶ(089)	ランドクルーザー300	
MSD15-60006-C2	ﾆｭｰﾄﾗﾙﾌﾞﾗｯｸ(229)		
MSD15-60007-NP	未塗装品		

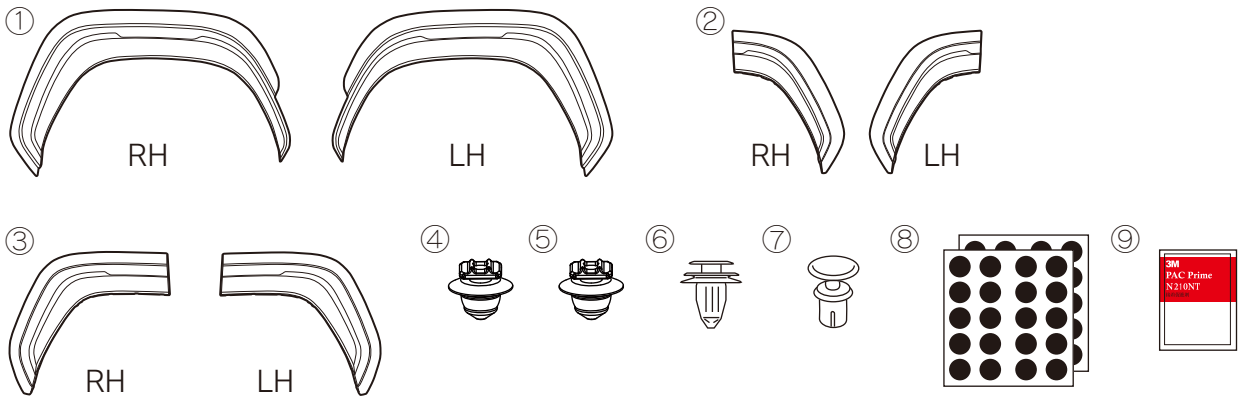
・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/
・フロントスポイラー（MSD41-60022-3/4/5）・リヤバンパースポイラー（MSD43-60017/18/19/20)を同時装着する場合は、オーバーフェンダーをあとに取り付けてください。

■ 構成部品

No.	部品名	品　番	数量	備考
①	フロントピース(RH/LH)		各1	PP
②	リヤドアピース(RH/LH)		各1	PP
③	リヤフェンダーピース(RH/LH)		各1	PP
④	トリムクリップA(赤小)		2	POM　φ8.0
⑤	トリムクリップB(白)		2	POM　φ8.0
⑥	トリムクリップ(赤大)		4	POM
⑦	クリップ(黒)		2	PA6　φ5.0
⑧	保護シール		40	PVC　ｼｰﾙ付き　黒20枚2ｼｰﾄ
⑨	PACプライマーN210NT	08867-00250	1	N210NT

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ リペアパーツセット（補給）

品　番	備　考
MSD15-60H16	①のRH ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨のセット同梱
MSD15-60H17	①のLH ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨のセット同梱
MSD15-60H18	② ③のRH ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨のセット同梱
MSD15-60H19	② ③のLH ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨のセット同梱
MSD80-60H37	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨のセット同梱

■ 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。
締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 本商品を取り付ける前に本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けはキズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけないようご注意ください。

❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業は清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）で行ってください。
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
  部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- 両面テープの圧着はテープの直上を49N(5kgf 以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に押してください。
  圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。
- 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

未塗装品の塗装作業について

- 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- 本商品を塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- 乾燥させる際は商品の変形の無いよう固定してください。
  又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので、下記温度条件で乾燥させてください。

  〈温度条件〉
  ABS系:60℃以下、 PP、PPE系:70℃以下

取り付けが終わったら

- 商品及び車両にキズが付いていないことを確認してください。
- 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認して下さい。
- 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
  該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図、
リペアパーツセット（補給）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・3～4
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、
取り付け構成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
取り付け準備、取り付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～11
取り付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
リペアパーツセット（補給）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

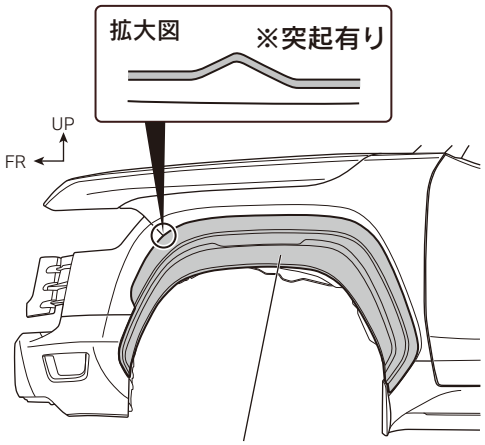
・六角レンチ
・クリップリムーバー
・軍手・保護シート・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール(IPA)
・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・２０,０００ｋｍの保証を実施致します。
(1年または２０,０００ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<https://www.modellista.co.jp/>
「保証について」をご覧ください。

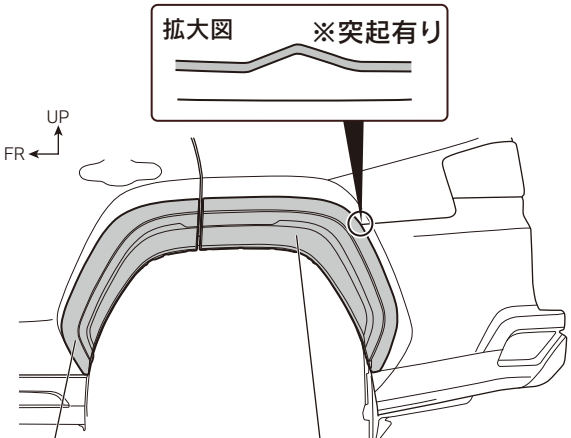
■ 取り付け構成図　LH示図

[フロント]



①フロントピースLH

[リヤ]



②リヤドアピースLH　③リヤフェンダーピースLH

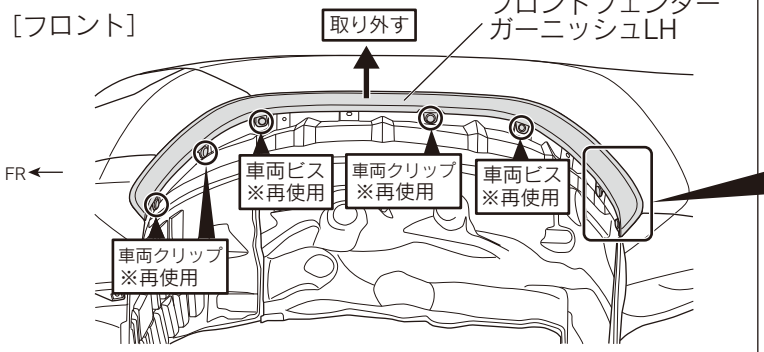
■ 取り付け準備、取り付け要領

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、
ＲＨ側も同様に行ってください。

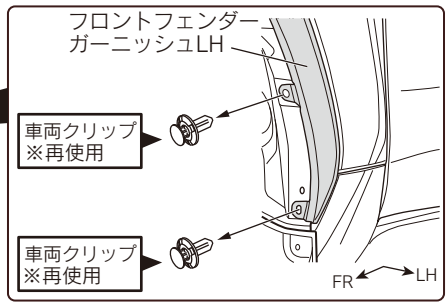
□ オーバーフェンダー取付準備

※ＬＨ図示　左右共通作業

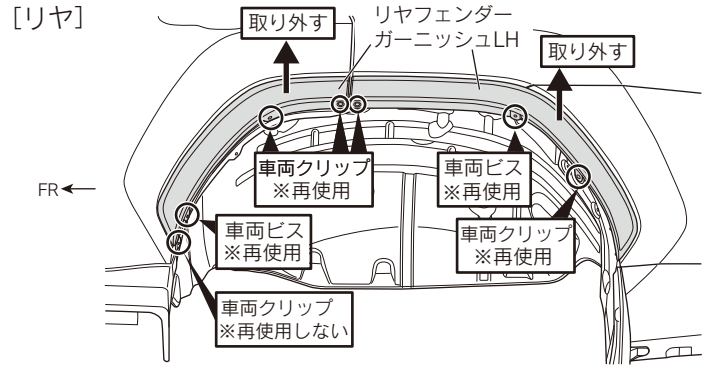
［フロント］



1.車両からフロント、リヤフェンダーガーニッシュを取り外す。



［リヤ］

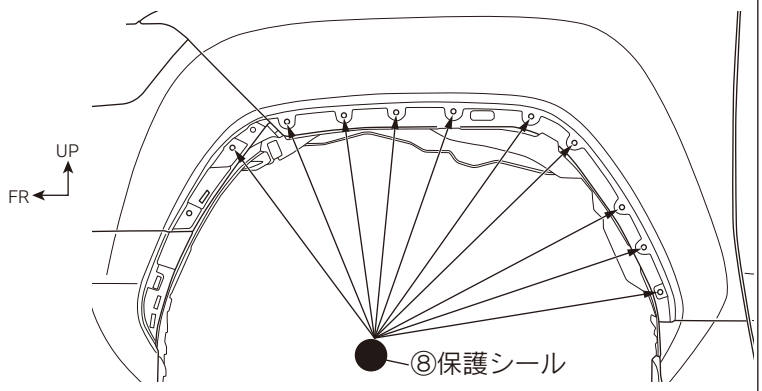


アドバイス

・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照してください。
・取り外した車両クリップ、ビスは一部再使用しますので紛失しない様、ご注意ください。
・車両フェンダーガーニッシュのトリムクリップが車両側に残っている場合は、全て取り外してください。

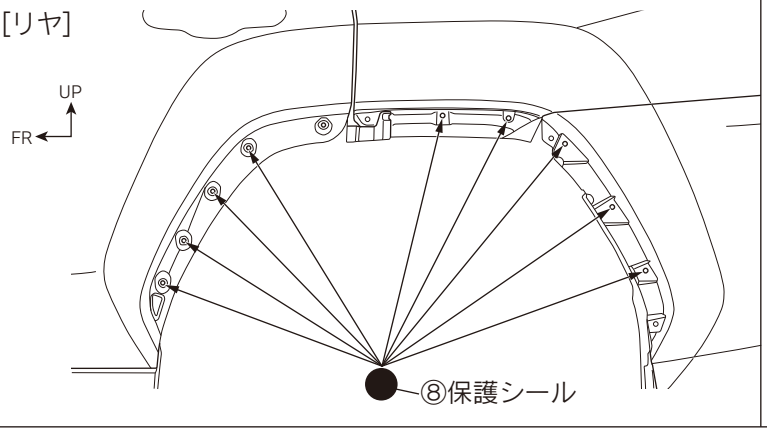
※ＬＨ図示　左右共通作業

［フロント］



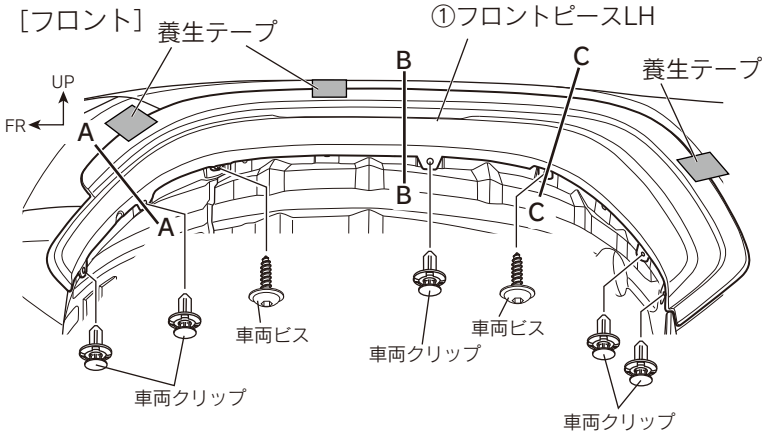
2.車両側面のフロント、リヤフェンダーガーニッシュのクリップ穴周囲を一方向に拭いて清掃・脱脂し、⑧保護シールを貼り付ける。
(フロント：左右各10ヶ所)
(リヤ：左右各9ヶ所)

［リヤ］

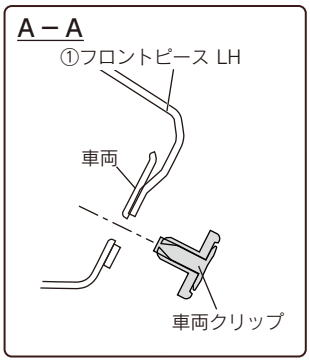


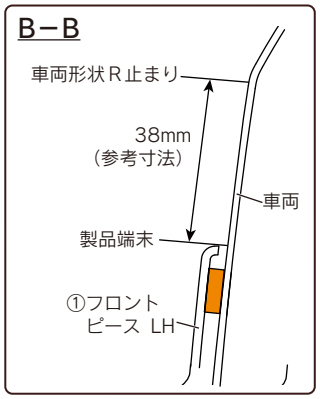
※ＬＨ図示　左右共通作業

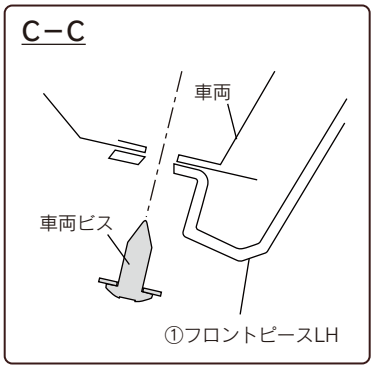
［フロント］



3. ①フロントピースを車両に仮当てし、車両クリップ（左右各5ヶ所）、車両ビス(左右各2ヶ所)で仮締めし、養生テープ等で仮固定する。

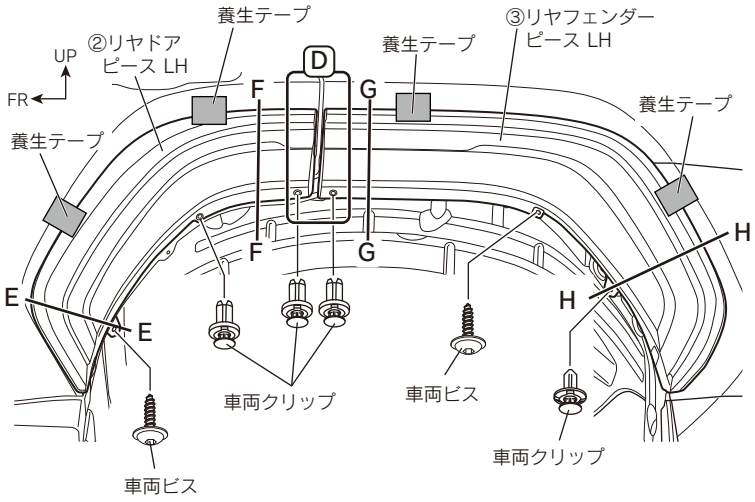




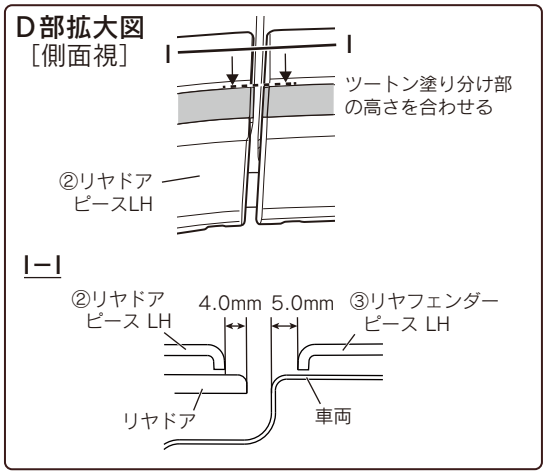


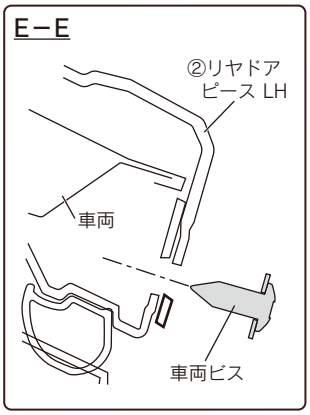
※ＬＨ図示　左右共通作業

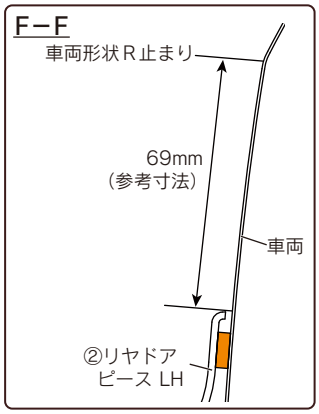
［リヤ］

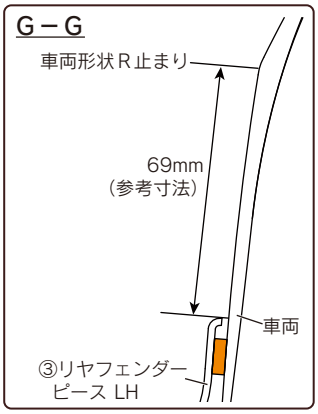


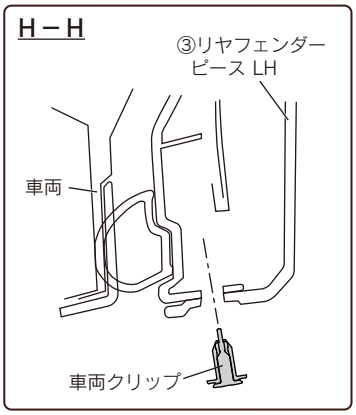
4. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを車両に仮当てし、車両クリップ(左右各4ヶ所）、車両ビス（左右2ヶ所）で仮締めし、養生テープ等で仮固定する。





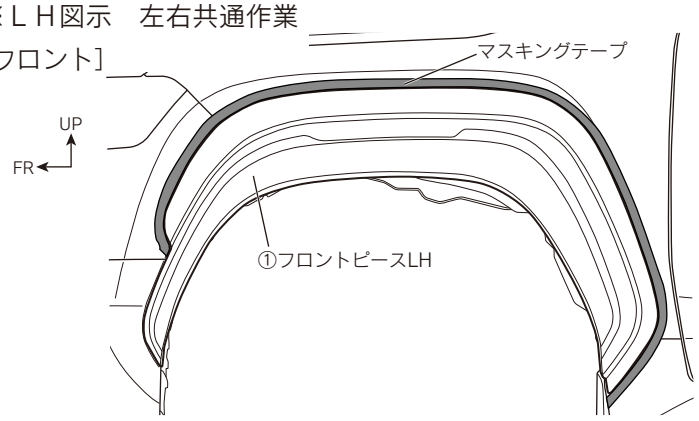






※ＬＨ図示　左右共通作業

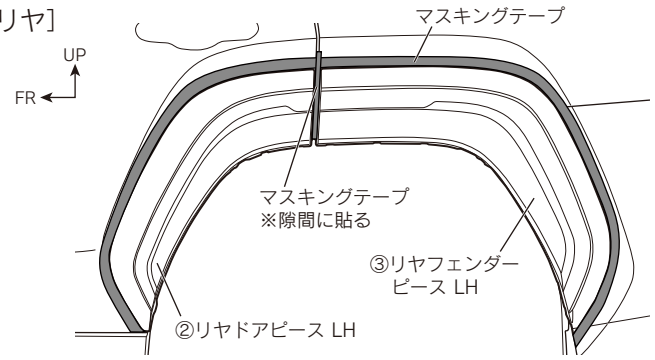
［フロント］



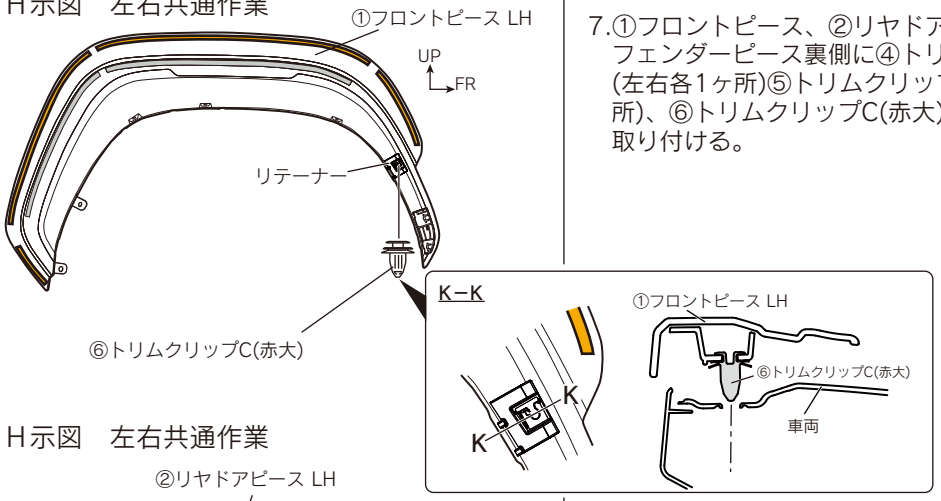
5. 左図を参照し、①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース端末に合わてマスキングテープを貼り付ける。

6.①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを取り外す。

［リヤ］

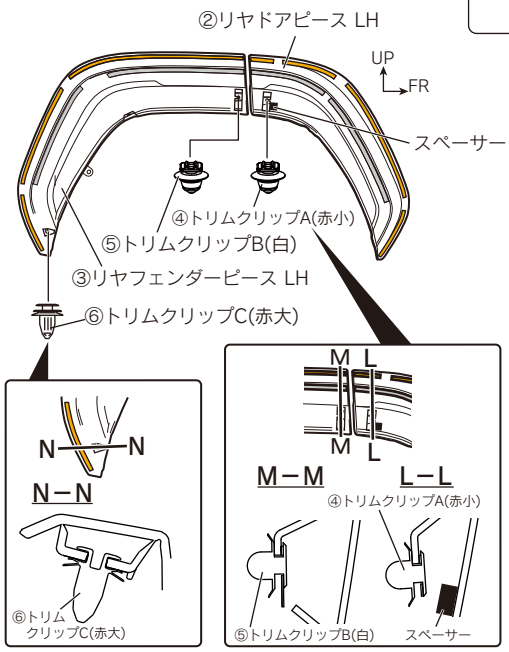


裏面視　※ＬＨ示図　左右共通作業



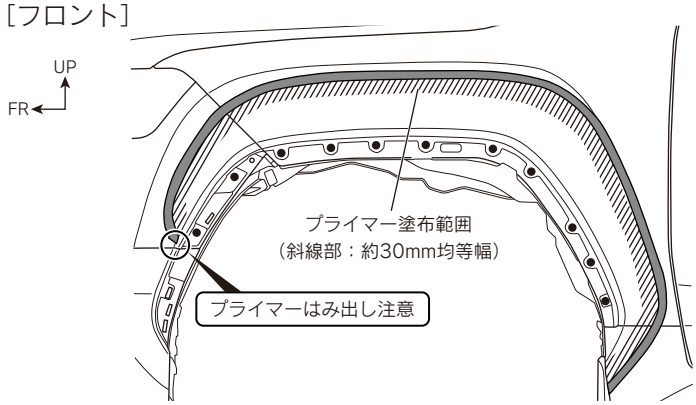
7.①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース裏側に④トリムクリップA(赤小)(左右各1ヶ所)⑤トリムクリップB(白)(左右各1ヶ所)、⑥トリムクリップC(赤大)(左右各2ヶ所)を取り付ける。

裏面視　※ＬＨ示図　左右共通作業

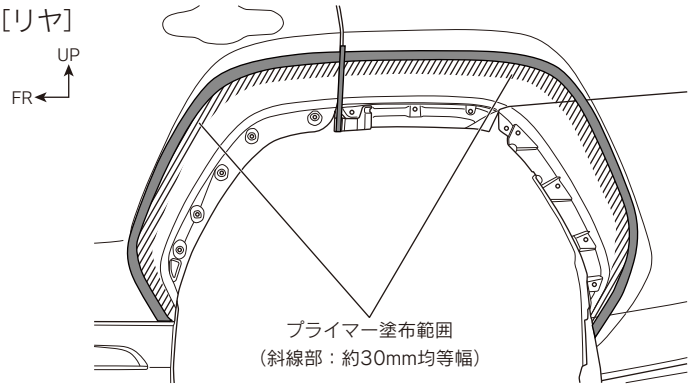


※ＬＨ図示　左右共通作業

［フロント］



［リヤ］



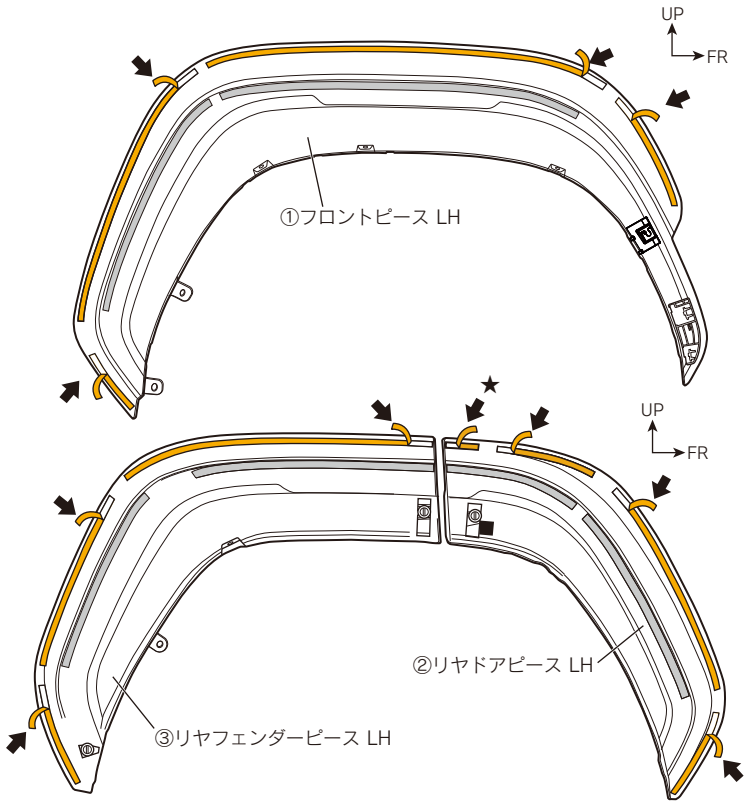
8.車両側面の左図斜線部を一方向に拭いて清掃・脱脂し、⑨PACプライマーN210NTを塗布する。

アドバイス

・PACプライマーN210NTは特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
・PACプライマーN210NT塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

9.マスキングテープを剥がす。

裏面視　※ＬＨ示図　左右共通作業

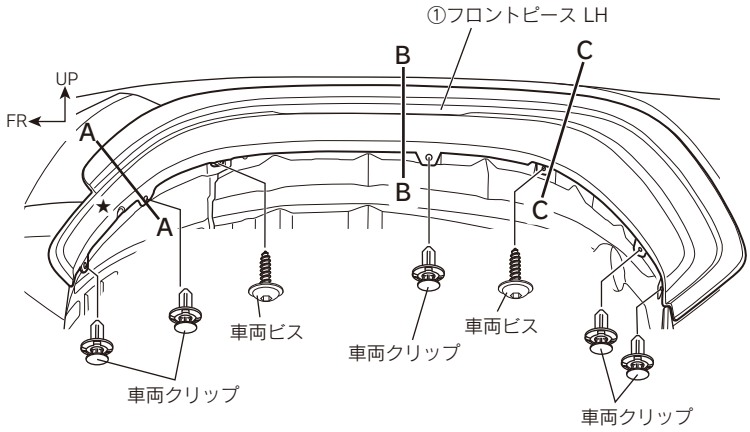


10.①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。
(①フロントピース 左右各4ヶ所 左図矢印部)
(②リヤドアピース 左右各3ヶ所 左図矢印部)
(②リヤドアピース ★部の離型紙は全て剥がす)
(③リヤフェンダーピース 左右各3ヶ所)

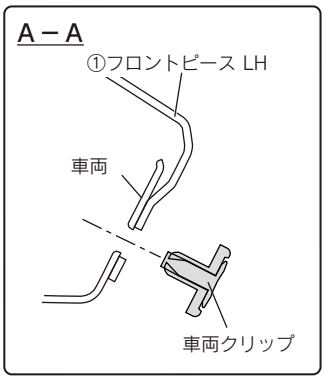
□ オーバーフェンダー取り付け要領

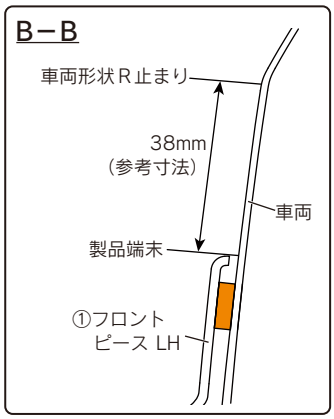
※ＬＨ図示　左右共通作業

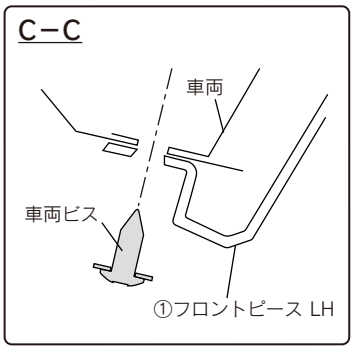
［フロント］



①フロントピースを車両に仮当てし、左図★部のトリムクリップ(左右1ヶ所)を勘合して、車両クリップ(左右各5ヶ所)、車両ビス(左右各2ヶ所)で仮締めする。

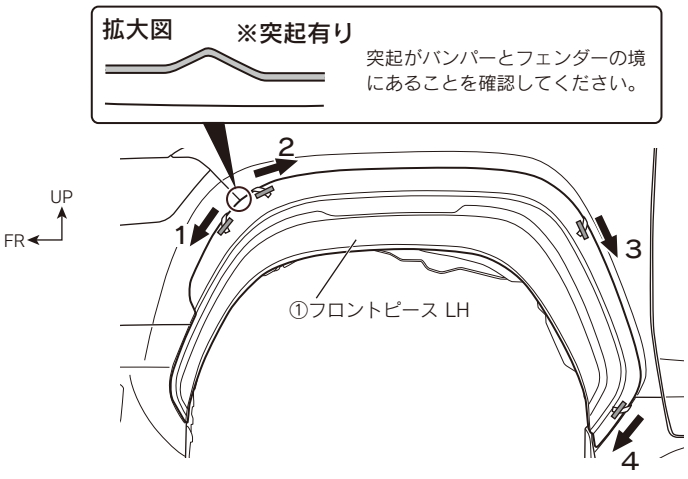






※ＬＨ図示　左右共通作業

［フロント］



2. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

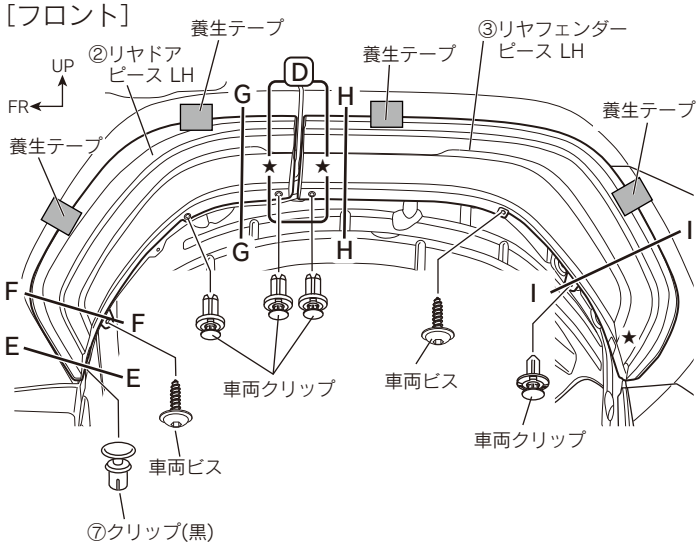
・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

アドバイス

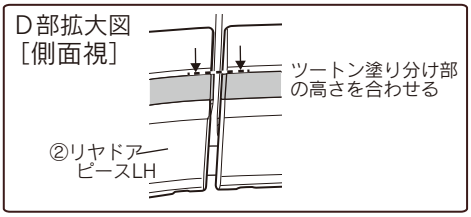
・取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

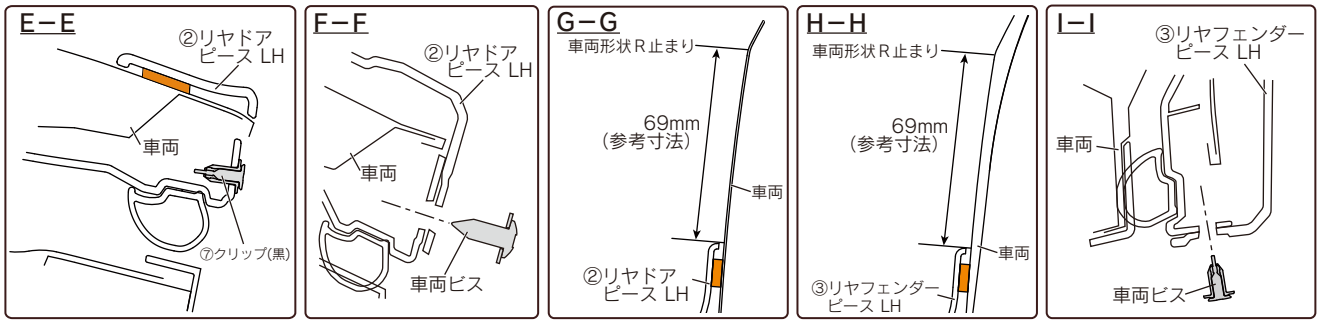
※ＬＨ図示　左右共通作業

［フロント］



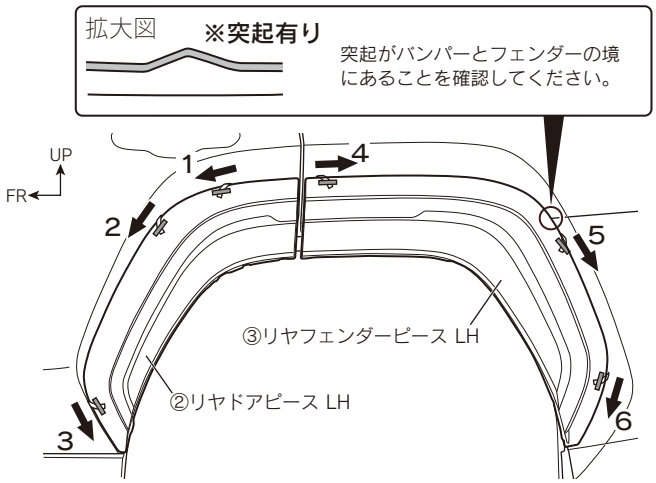
3. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを車両に仮当てし、左図★部のトリムクリップ(左右3ヶ所）を嵌合して車両クリップ(左右各各4ヶ所）、トリムクリップ（左右各1ヶ所)車両ビス（左右1ヶ所）、で仮締めする。





※ＬＨ図示　左右共通作業

［リヤ］



4. 両面テープの離型紙を左図矢印の方向に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

5. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

6. 全ての車両ビスを本締めして取り付け作業完了。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1.商品及び車両にキズが付いていないことを確認してください。

2.商品全周に渡り、浮き、剥がれ等、無いことを確認してください。

3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

4.作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行って下さい 。

5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MSD15-60007-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

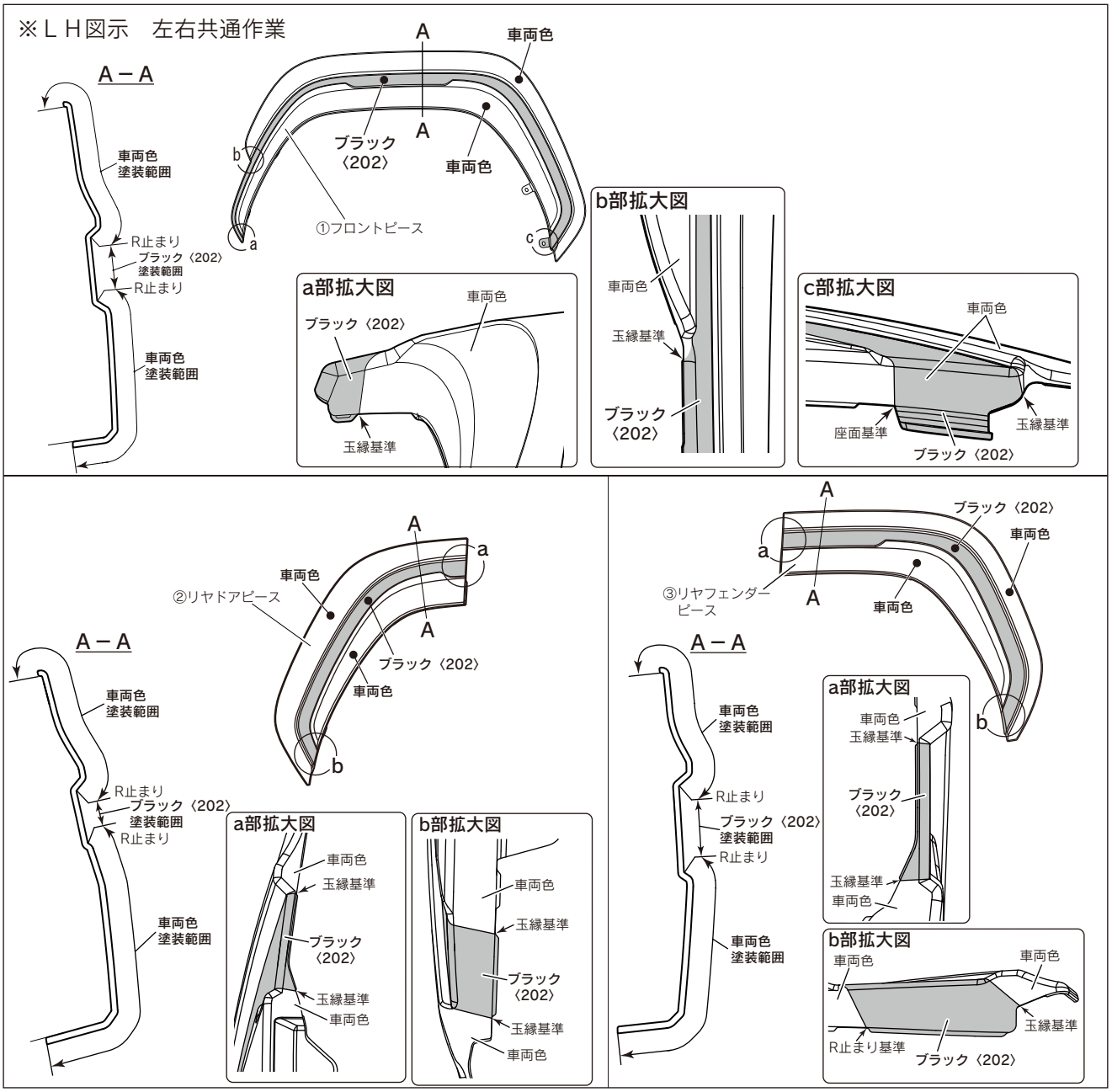
⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

⚠注意：プライマーは非電導性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□ オーバーフェンダーの塗装

1.①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースをボディ色で塗装し、
下図範囲をブラック〈202〉で塗り分け塗装する。



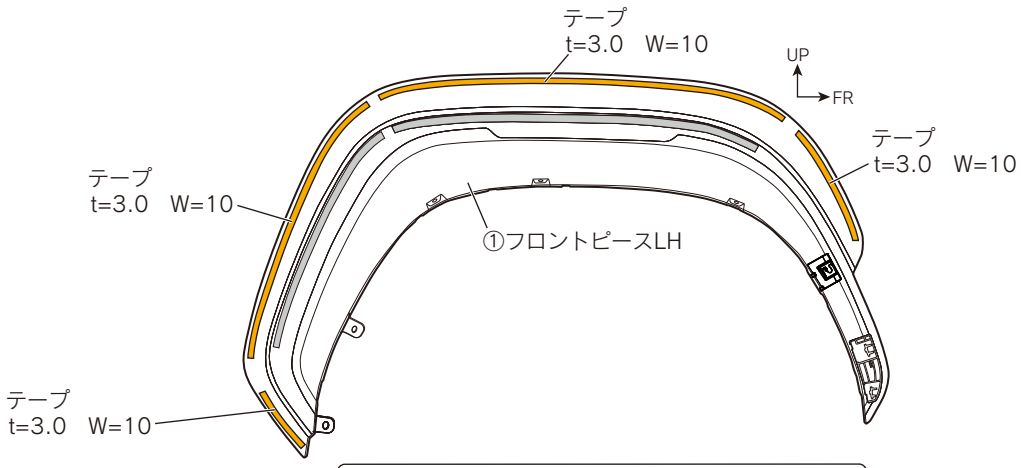
⚠警告: 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

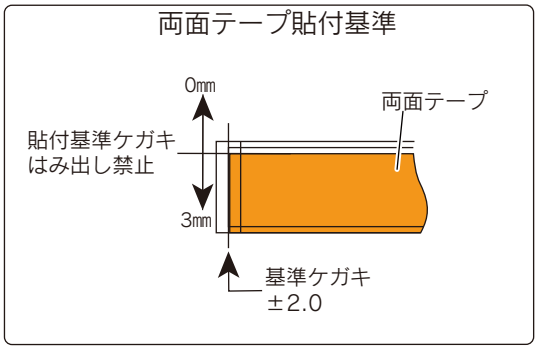
⚠注意: 乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

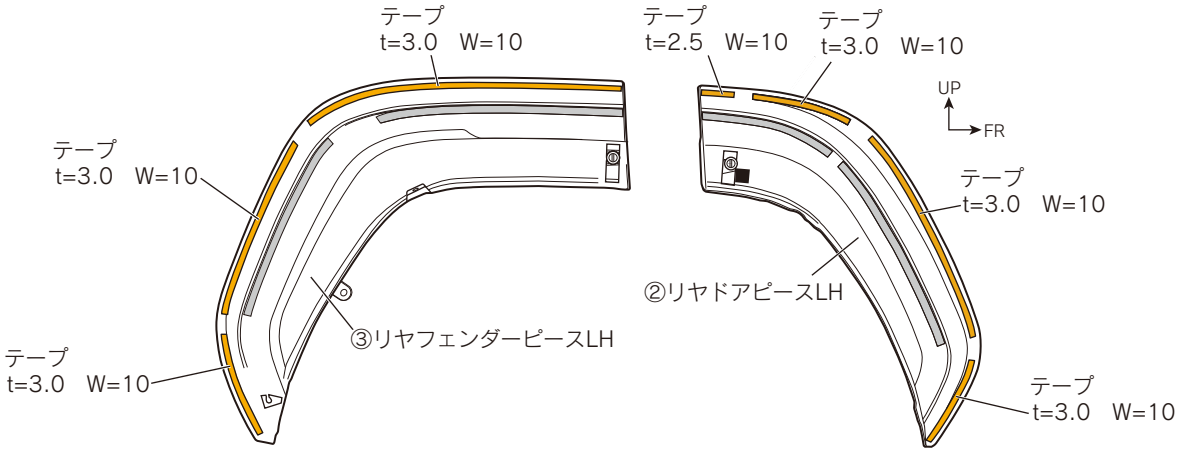
□リペアパーツセット（補給）について

1.補修キットを使用して①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー （PAC プライマーK-520 相当）を塗布する。
※両面テープは製品裏面のケガキ基準で貼り付ける。

裏面視 ※ＬＨ示図　左右共通作業







株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp

MODELLISTA

脱脂作業要領書

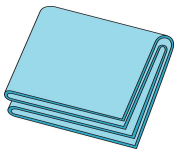
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

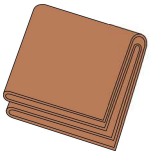
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

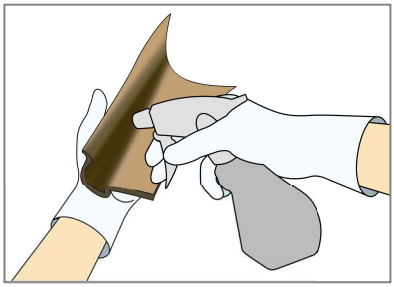

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

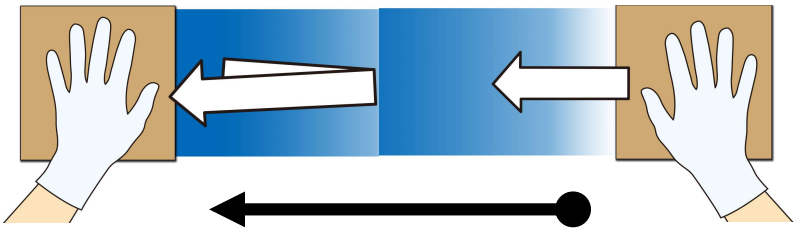


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

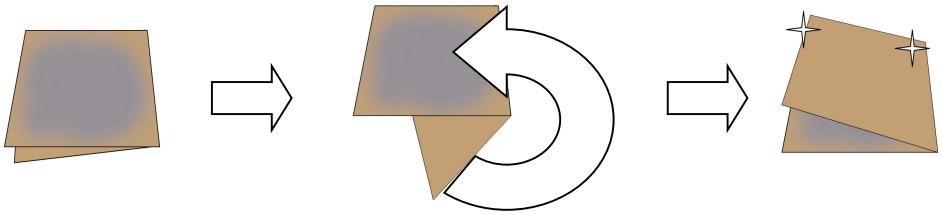
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。